

科目コード	ナンパリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
350027	X-21-B-3-350027				専門	選択	4年
授業科目	担当教員				専門	選択	4年
海外実習 B	佐藤 若菜	1	海外研修	【1年次生】国際学部国際文化学科 【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース 【2年次生以上】国際学部国際文化学科 【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース 【1年次生】経営情報学部経営学科 【1年次生】経営情報学部情報システム学科 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース 【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	4年
				×	×	×	
				×	×	×	
				×	×	×	

授業目的

海外の大学において開催される語学セミナーへの参加、あるいは海外の企業でのインターンシップ、または国際NGOやボランティアへの参加等によって、普段机上では体験できない勉学の機会とする。第1回目の2016年度は13名の学生が、台湾、フィリピン、カンボジア、ニュージーランド、カナダ、アメリカ、ロシアに渡航し、語学セミナーやボランティアなどに参加した。

各回毎の授業内容

第1回

【授】 夏期休暇期間中に海外の大学で開催される語学セミナーへの参加、あるいは海外でのボランティア・企業やNGOでの研修といった活動を行った場合に単位を認定する。活動期間は1週間程度からそれ以上が望ましい。希望学生はゼミ教員に現地活動計画書を提出し指導を受ける。帰国後、現地実習成果をレポートにして提出、学生公開の場で報告する。事前の計画書と帰国後のレポートおよび成果報告会をベースに担当ゼミ教員が成績評価、学部長が単位認定を行う。

【前・後】目的に応じて、それ相当の事前学習を行ったうえで参加すること。

第2回

第3回

第4回

第5回

第6回

第7回

第8回

第9回

第10回

第11回

第12回

第13回

第14回

第15回

第16回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

教科書参考書

吹浦 忠正『NGO・海外ボランティア入門—難民を助ける会 20年の軌跡から』自由国民社、1999年。

地球の歩き方編『1週間からできる海外ボランティアの旅—はじめてでもできる!本当の自分が見つかる感動体験』2008年。

受講に当たっての留意事項

本実習では、選定された実習地が適當かどうかを、ゼミ教員が中心となって検討し、適當と判断された場合に派遣される。場所によっては毎日の連絡が必要な場合もある。授業の一環であることを念頭に入れて実習先を選ぶこと。詳細は所属するゼミ教員に質問すること。

学習到達目標

海外での活動を通じ大学での机上では体験できない勉学、体験を通じて国際理解の一助とする。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習